

新年のごあいさつ



大治町長
村上 昌生

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、4月に町制施行40周年を迎えて、チャレンジデー2015 in 大治を皮切りに、記念式典やグルメフェスティバルなど、さまざまな記念事業を実施し、多くの皆様にご参加とご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

また、記念事業の実施により、大治町を広く知つていただくとともに、町民の皆様におきましても、郷土の魅力を見つめ直し、地域のつながりや絆の強まりを感じる機会となつたことと存じます。

本年は、1月末にチャレンジデーや中学生交流事業でつながりが深まりました北海道の魅力を町民の皆様にお届けするための事業を実施するとともに、記念事業の集大成といったしまして、広報おおはるの40周年記念特集号を発行いたします。

さらに、昨年より実施しております「おおはる健幸マイレージ」を充実させ本年も継続して実施してまいります。より多くの方に参加していただけるよう、普及・啓発に努め、引き続き町民の皆様の健康づくりを応援いたします。

そして、本年10月末からおよそ1ヶ月にわたり、日本最大級の文化の祭典「国民文化祭」が愛知県で開催されます。大治町では国・県とともに「こども和太鼓フェスティバル」、町事業として「体験してみよう！日本舞踊の舞台裏を上演（伝統芸能ワークショップ）」を実施し、和太鼓や日本舞踊を通じた文化の向上発展、地域の魅力づくりや活性化につなげてまいります。



さて、平成28年度の取り組みといたしましては、昨年計画した雨水排水対策を事業化し、まず、円楽寺川の河道の流下能力を向上させるため、浚渫を計画的に進めてまいります。また、防災行政無線の機能強化、避難所への災害用発電機の整備など、安心安全なまちづくりを進めてまいります。

本年も、「笑顔あふれ みんなで育む 元気なまち おおはる」を目指してまちづくりを進めてまいりますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、この一年が皆様にとって、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、輝かしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、リニア中央新幹線、燃料電池自動車FCV、国産初のジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き出した年でした。中でも、11月の県営名古屋空港におけるMRJの初飛行は、半世紀ぶりとなる国産旅客機の量産という夢を乗せた飛行であり、当地域の航空宇宙産業の発展に大きな弾みとなるものと大変嬉しく思っています。

日本の中心に位置する愛知県は、日本一のTechnology(技術)とTradition(伝統)を誇る我が国の産業の中心地、まさに“Heart”of JAPANです。今年は、この愛知の強みをさらに進化させる年にしたいと思します。

2027年度のリニア開業を前に、名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・道路など社会基盤の整備を着実に進め、世界に発信する

る「中京大都市圏」づくりに取り組むとともに、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、さらにはTPP協定の発効も見据えた農林水産業の振興などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

そのためには、「人財力」の強化も重要です。4月開校の県立愛知総合工科高校を核に次代のモノづくりを担う人材の育成に取り組むほか、女性の活躍促進、高齢者や障害のある方々への支援の充実など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。さらには、福祉・医療の充実、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」に向けた取り組み、スポーツ大会や国際会議の積極的な誘致などとともに、地方分権や行財政改革の推進、東三河県庁を核とする地域振興にも力を注いでまいります。

さて、今年5月には三重県で伊勢志摩サミットが開催されます。愛知は、そのゲートウェイとして関係者の受け入れに万全を期することはもちろん、これを好機と捉え、産業観光や武将観光、日本一の山車からくりなど、愛知の魅力をしっかりとPRしてまいります。

そして、8月からは、あいちトリエンナーレ、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と、大規模な文化行事を連続して開催する「芸術・アートの年」もあります。多様な魅力のあふれる文化芸術作品をお楽しみいただきたいと思います。

こうした取り組みを通じ、愛知の総合力を一段と高め、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

平成28年元旦

